

令和4年度 阿南市ふるさと納税寄附金実績報告

阿南市版ふるさと納税では、持続可能な社会づくりを実現させていくために、環境保全・美化・啓発活動や環境配慮商品の開発に取り組む事業者が返礼品を提供する制度運用を行っております。昨年度においてもこの制度に御理解をいただき、ふるさと納税（寄附）を全国各地から多数受け賜わることができました。お礼申し上げますとともに、本市への寄附件数及び寄附金額を御報告いたします。

令和4年度寄附件数 31,405件 令和4年度寄附金額 448,909,000円

なお寄附金額から業務委託料などの必要経費205,597,940円を差し引いた実質収入金額243,311,060円をふるさと阿南応援事業基金へ積み立てております。

～主な令和4年度ふるさと納税寄附金使途報告～（前年度分の御寄附を活用）

●チャレンジ都市阿南創造事業補助金（5,972,000円）

地域経済の好循環等につなげることを目的として、持続可能な開発目標（SDGs）の実現及び「環境」、「社会」及び「管理体制」を重視した経営モデル（ESG経営）に関係する新たな商品・サービスの開発等、先導的ビジネス展開により新規創業及び事業再構築を計画されている企業家や事業者を対象にその創業にかかる経費の一部を選考の上、補助いたしました。



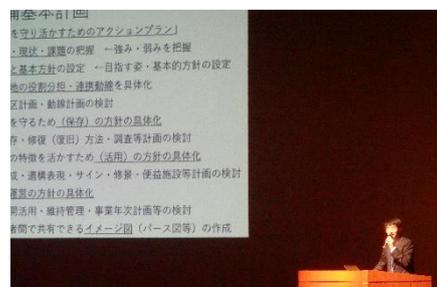
●公用車（電気自動車）購入事業（5,037,857円）

「2050年までのCO2排出量正味ゼロ」の実現に寄与するため、公用車を次世代自動車（電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車その他の次世代自動車及び低燃費・低公害車）へ更新しています。令和4年度は軽乗用電気自動車を3台導入しました。これまでのガソリン自動車と比較すると1年間で1台当たり約1トン合計約3トンの温室効果ガス排出量の削減が期待できます。



●若杉山記念講演会費（213,000円）

阿南市民と共に「若杉山辰砂採掘遺跡」の未来を考える場を設けるために講演会を実施しました。本講演会では『史跡等の整備について一価値の保存と活用をつなぐー』題して文化庁文化資源活用課の岩井浩介氏に御講演いただき、また講演会関連事業とし現地説明会も実施しました。これにより市民の「若杉山辰砂採掘遺跡」に対する整備と活用についての理解がより一層深まりました。



●恋人の聖地シティープロモーション事業費（2,500,000円）

恋人の聖地を有する18市町村が共同活用できるプラットフォーム、SNS、共同制作物等を整備し、各市町村のPR動画作成や著名人とのコラボ企画など、観光地の魅力や特産品の情報発信を行うことで、アフターコロナにおける交流人口・関係人口の増加や移住の促進に繋がることが期待できます。

●阿南市エリアリノベーションプロジェクト事業（500,000円）

富岡商店街において、空き店舗を改修、ポスレジを導入したチャレンジショップを運営し、当該店舗に地域住民のニーズが高いカフェを公募して誘致するとともに、出店者に定期的に経営上のアドバイスを実施しました。また、来街者及び来街者以外の者に対してアンケート調査等を実施し、ポスレジにより取得した来店者の属性データと併せて、チャレンジショップの出店者及び富岡商店街の既存店舗と情報共有及び分析を定期的に行いました。



●光のまちづくり事業費補助（750,000円）

光のまちづくり協議会を中心に市内の各種団体や事業者、学生等が一丸となり、LED発祥の地として、また、地域の新たな魅力づくりとして「光のまち阿南」を象徴するイベントを開催しました。観光資源である恋人の聖地や地域資源としての「光」を全国にPRすることを通じて、関係者のシティプロモーションによる地方創生への取組に対する意識の醸成、また、地域の魅力の再発掘やブラッシュアップ、社会の変化に合わせたデジタル化や情報発信力の強化が図られました。



●阿南市こどもエコクラブ運営費（123,200円）

令和4年6月に阿南工業高等専門学校、出島野鳥公園において市内の小学生がこどもエコクラブに参加しました。阿南工業高等専門学校では、講師の大田直友教授からSDGsと阿南市生物多様性あなん戦略のホットスポットを題材とした講義を受講しました。クイズ形式でわかりやすい講義で、子どもたちも楽しそうに参加していました。出島野鳥公園では、野鳥の会徳島県支部の代表の方から野鳥公園周辺で観察できる鳥の種類、生態や生態系を守るために自分たちが気をつけるべきこと、できることなどについて学習することができました。

